

殺菌剤

登録番号

第 20237 号

性 状

類白色水和性粉末 45μm 以下

有効期限

5 年

毒 性

普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

包 装

500g×20 袋、1kg×10 袋

有効成分

イミノクタジナルベシル酸塩 20.0%、キャプタン 45.0%

種 類 名

イミノクタジナルベシル酸塩・キャプタン水和剤

殺菌剤分類

M7,M4

日曹の農薬

- 特 長
- 1. 幅広い抗菌スペクトラムを有する総合防除剤です。
 - 2. 作用性の異なる2成分の混合剤であり耐性菌の発生を防止する面からも有効な薬剤です。



製品ページはこちら

■適用病害名及び使用方法 (2025 年 10 月 29 日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン を含む農薬 の総使用回数	キャプタン を含む農薬 の総使用回数	使用 方法
なし	輪紋病	1,000	200～ 700	収穫14日 前まで	4回以内	5回以内 (塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内)	9回以内	散布
	黒星病							
	うどんこ病							
	黒斑病							
	炭疽病							
りんご	黒星病	800～ 1,000		収穫前日 まで	6回以内 (但し、 開花期以降 散布は3回以内)	8回以内 (液剤及び水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は 3回以内)、 塗布剤は2回以内)	6回以内	
	すす点病							
	すす斑病							
	斑点落葉病							
	炭疽病							
	褐斑病							
	黒点病							
	輪紋病							
もも	縮葉病	1,000		休眠期	1回	3回以内 (休眠期は1回以内)	4回以内	
おうとう	灰星病			収穫7日 前まで	3回以内	3回以内	5回以内	
	幼果菌核病							
ぶどう	べと病			収穫60日 前まで	2回以内	3回以内 (休眠期は1回以内、 生育期は2回以内)	3回以内	
	黒とう病							
	晩腐病							
かき	うどんこ病			収穫14日 前まで	3回以内	3回以内	5回以内	
たまねぎ	灰色かび病		100～ 300	収穫前日 まで	5回以内	5回以内	6回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 5回以内)	
きゅうり	褐斑病					7回以内	5回以内 (種子粉衣は 1回以内)	
	炭疽病							
	うどんこ病							
	べと病							

効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
3. 石灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性薬剤及びマシン油剤との混用はさけてください。
4. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
5. りんごに使用する場合、芽出し 2 週間すぎから落花後 25 日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
6. 西洋なし品種ル レクチエではさび果、ももの缶桃 14 号等の缶詰用品種では葉の薬斑を生じるおそれがあるのでかからないように注意してください。
7. ぶどうに使用する場合、幼果期～袋掛けまでの散布は、果粉の溶脱や果実の汚染を生じるおそれがあるので注意してください。
8. ももでは、発芽後の若葉には薬害を生じるおそれがあるので必ず発芽前に散布してください。
9. ももの縮葉病に使用する場合は、発芽直前の使用が効果的です。
10. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
11. かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるのでかからないように注意してください。
12. おうとうに使用する場合、着色期以降の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
13. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

14. 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
15. 皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
16. 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするともに衣服を交換してください。
17. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
18. かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
19. 夏期高温時の使用をさけてください。

● 水産動植物への影響

水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 保管上の注意

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

-
- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。
 - 小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
-